

さがみはらファミリークリニック

医療法人社団 はやぶさ
理事長 水上 潤哉

相模原市中央区上溝3956-1
TEL 042-764-0720
FAX 042-738-3170
発行責任 事務長 星野 進

5年目を迎えて

住み慣れた地域で自分らしく

医療法人社団はやぶさ

さがみはら

ファミリークリニック

院長 水上 潤哉

私が相模原にきましたのは二〇一三年で、医療法人はやぶさも五月で5年を迎えます。

患者ゼロからのスタートで、春日先生・本田顧問を含め職員四人でスタートしました。患者さんも四年で五〇〇人となり、職員も四人から今や三〇人以上の組織となりました。

相模原市内では診療所として、有数の医療機関となりました。従って、しっかりとした組織を創って地域医療に貢献していかなければならないと思っています。

在宅医療の現状は、心ない医療機関の行いの影響で、施設に関する診療報酬が下げられ、仕事は忙しくなり、診療報酬は低下し、職員も非常に大変な時期がありました。組織を見直し、いずれは事務長を必要とし、組織を整備しなければと考えていました。

このたび星野事務長を迎え、院内の組織をまとめ上げていただき、患者さんにとってより迅速・機敏に活動できる組織にしていければと思っています。

私自身は、医師会の理事を拝命し、医療安全や学術医会の担当理

事として、医師会の職務も増えてきました。また医師会は行政との関わりが深く、私も介護認定審査会を担当しています。

一人の患者さんの病いを治すだけではなく、社会全体をよくすることが患者さんの療養環境の改善にもつながると確信して頑張っていきたいと思っています。はやぶさの全ての職員とともに、相模原での在宅診療の環境を整えていければと思っています。

居宅支援事業所・ケアマネジャーの皆様

本年4月の診療報酬改定によりさらに連携を充実させてまいります。

- 入院時情報連携加算二〇〇単位（入院3日以内）
- ターミナルケアマネジメント加算四〇〇単位
- 退院退所加算カンファレンス参加で六〇〇単位
- 特定事業所にあつては「平時からの医療機関との連携促進」「医療機関等との総合連携の促進」が加わりました。
- 末期悪性腫瘍の利用者に対するケアマネジメントでは、利用者の心身状況等の情報を記録し、主治医等へ提供した場合等、連携の内

【新しい体制】

水上潤哉院長・春日信弘副院長体制の下、在宅医療部と連携相談室が発足します。

法人事務長	星野 進
事務次長	吉原 健治
在宅医療部部長	田村 晴美看護
連携相談室室長	鈴木美智子

容まで踏み込んでおります。

当クリニックは、患者様への的確な医療サービスを行うためにケアマネの皆様との連携の中身を充実させてまいります。

定期的なサービ担当会議への参加、居宅療養管理指導書のサービスと直結した内容を日常とし、「患者の希望に応じた看取り患者への往診」では「人生の最終段階における決定プロセスに関するガイドライン」を共通認識として進めてまいります。そのためには、皆様との忌憚のない意見交換も必要なことです。

クリニックは、連携相談室体制を3名に増強し、地域と患者様のため在宅療養を進めてまいります。